

# 第1学年 理科 シラバス

## 1 教科の目標

<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。</p> <p>① いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら観察と分類の仕方、体の基本的なつくりを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付ける。生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。</p> <p>② 身の回りの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化について理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付ける。物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現する。</p> <p>③ 日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きについて理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付ける。光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>④ 身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害について理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付ける。地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現する。</p>
---

## 2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目（評価規準）	評価材料・評価場面
I 知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・定期考査 ・小テスト ・発表の様子 ・授業態度
II 思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究している。	・提出物（ノート、ワークシート、レポートなど）
III 主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。	

## 3 年間指導計画

学期	月	単元	
一学期	4月	単元1 いろいろな生物とその共通点	第1章 生物の観察と分類のしかた
	5月		第2章 植物の分類
	6月		第3章 動物の分類
	7月	単元2 身のまわりの物質	第1章 身のまわりの物質とその性質
二学期	9月	単元3 身のまわりの現象	第2章 気体の性質
	10月		第3章 水溶液の性質
	11月		第4章 物質の姿と状態変化
	12月		第1章 光の世界
三学期	1月	単元4 大地の変化	第2章 音の世界
	2月		第3章 力の世界
	3月		第1章 火をふく大地
			第2章 動き続ける大地
			第3章 地層から読みとる大地の変化

## 4 学習のポイント

<p>1. A. B. C の基準</p> <p>A … 提出物は、決められた期限までに提出し、内容が正しく書かれている。 小テストや期末考査では、8割以上の内容を理解している。</p> <p>B … 提出物は、決められた期限までに提出し、おおむね正しい内容が書かれている。 小テストや期末考査では、5割以上の内容を理解している。</p> <p>C … 提出物の取り組みが不十分である。小テストや期末考査の内容の理解が、5割に達していない。</p> <p>2. 学習を進めていく上でのポイント</p> <p>授業 … 集中して説明を聞きしっかりメモをとりましょう。積極的に授業に参加しましょう。</p> <p>提出物 … 実験レポートは、実験のようすや結果をしっかり記録しましょう。図やグラフ、表などを使って表現しましょう。実験の内容を理解し、結果から自分で考えたことを文章で説明できるようにしましょう。ノートやワークなどの提出物は、決められた期限までに、指示された内容をきちんと取り組んでから提出しましょう。</p> <p>定期考査、小テスト、単元末テスト … 試験範囲の重要語句を覚え、授業で行った実験や観察の内容をまとめましょう。ワークや授業中に解いたプリントをくり返し解いて覚えましょう。間違えた問題は必ず復習しましょう。</p>
---